

2022年度

日本健康医療専門学校

シラバス　（講義概要）

ライフデザイン学科

1年生

一般科目	外国語	英語 I	
宮崎 研三			
必修・選択	2 単位 (30時間)	講義	1年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉 TOEIC試験対策を中心に、聴解能力(Listening)を養うことを目的とする。 その為、たくさんの英語を聞いて、耳を英語に慣れさせる。			
〈到達目標〉 英語を聞き取ることが出来るようになる。			
<b>2 授業内容</b>			
1回	レベルチェック		
2回	演習・解説 リスニングPart 1, 2		
3回	リスニング・スクリプトのディクテーション		
4回	小テスト・リスニング・スクリプトのディクテーション		
5回	演習・解説 リスニングPart 1, 2		
6回	小テスト・リスニング・スクリプトのディクテーション		
7回	演習・解説 リスニングPart 1, 2		
8回	演習・解説 リスニングPart 1, 2		
9回	リスニング・スクリプトのディクテーション		
10回	リスニング・スクリプトのディクテーション		
11回	リスニング・スクリプトのディクテーション		
12回	演習・解説 リスニングPart 3, 4		
13回	演習・解説 リスニングPart 3, 4		
14回	演習・解説 リスニングPart 3, 4		
15回	演習・解説 リスニングPart 3, 4		
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
出席率と授業態度を重視します。 自分で発音することも大切なので積極的に練習に参加する。			
<b>4 教科書</b>			
特に指定せず、プリントを使用する。			
<b>5 参考書</b>			
公式TOEIC Listening & Reading問題集 公式TOEIC テスト公式問題集 新形式問題対応編 TOEICテスト新形式精選模試リーディング 公式TOEIC Listening & Reading リーディング編 公式TOEIC Listening & Reading リスニング編 TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ			
<b>6 成績評価の方法</b>			
出席率（課題・態度等含む）40% 定期試験 60%			

専門選択科目	外国語	英語Ⅰ	
小林健	旅行会社に10年勤務 外国人に他する観光案内などを経験 実践的英語を学び、教授に活かす。 医師の学会に専属し業務に関する対話通訳を行ってきた。		
必修	2単位 (30時間)	講義	1年次

### 1 授業科目的概要・到達目標

#### 〈概要〉

主に TOEIC®の Part6、Part7 の過去問等を用い、様々な種類の書かれた情報を限られた時間内に素早く読み取る訓練、内容把握のテクニック、文法事項の確認、語彙力の向上を行う。

授業中は、適宜、質疑応答の時間を設けるので、どのような疑問でも構ないので、不明点は必ず質問し、その場で解決して、疑問を残さないように心がけること。積極的な勉学姿勢が望まれる。適宜、必要な外部検定試験を受験するよう求める。

#### 〈到達目標〉

TOEIC®における読解力の訓練を通じて上級学校への進学を目指す上で必要と思われる総合的な英語力の習得を目的とする。高等教育や企業で求めらるCRFR の B2 レベル(TOEIC 換算785点以上)を到達目標とする。

### 2 授業内容

- |     |       |              |
|-----|-------|--------------|
| 1回  | 演習・解説 | リーディングPart 6 |
| 2回  | 演習・解説 | リーディングPart 7 |
| 3回  | 演習・解説 | リーディングPart 6 |
| 4回  | 演習・解説 | リーディングPart 7 |
| 5回  | 演習・解説 | リーディングPart 6 |
| 6回  | 演習・解説 | リーディングPart 7 |
| 7回  | 演習・解説 | リーディングPart 6 |
| 8回  | 演習・解説 | リーディングPart 7 |
| 9回  | 演習・解説 | リーディングPart 6 |
| 10回 | 演習・解説 | リーディングPart 7 |
| 11回 | 演習・解説 | リーディングPart 6 |
| 12回 | 演習・解説 | リーディングPart 7 |
| 13回 | 演習・解説 | リーディングPart 6 |
| 14回 | 演習・解説 | リーディングPart 7 |
| 15回 | 演習・解説 | リーディングPart 6 |

### 3 履修上の注意・予習復習の内容

予習は必須。辞書機能を使用するためでも授業中の携帯電話の使用は禁止する。私語厳禁。

### 4 教科書

使用するプリントを配布する。

### 5 参考書

### 6 成績評価の方法

出席50%、試験50%

選択科目	外国語	英語Ⅰ	
松田 朋子	貿易会社に勤務し、主に対アメリカの輸出入実務を経験する。 照明メーカーの輸出入業務を経験する。実践的な英会話を教授してきた。		
必修	2単位 (30時間)	講義	1年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉 be動詞、一般動詞、疑問詞、過去形、進行形、未来の文、現在完了、助動詞、不定詞など ・スキットを使用した会話練習 ディクテーション 発音練習 自分のことに置き換えて練習			
〈到達目標〉 英文法を基礎から身につけ、文法とは別に、表現をフレーズとして覚えて使えるようになる。			
<b>2 授業内容</b>			
1回	文型 ①	16回	態
2回	文型 ②	17回	態
3回	時制 ①	18回	比較表現
4回	時制 ②	19回	比較表現
5回	助動詞 ①	20回	関係詞
6回	助動詞 ②	21回	関係詞
7回	準動詞 ①	22回	仮定法
8回	準動詞 ②	23回	仮定法
9回	準動詞 ③	24回	接続詞
10回	準動詞 ④	25回	接続詞
11回	準動詞 ⑤	26回	前置詞
12回	準動詞 ⑥	27回	前置詞
13回	準動詞 ⑦	28回	形容詞、副詞、疑問文
14回	準動詞 ⑧	29回	形容詞、副詞、疑問文
15回	準動詞 ⑨	30回	名詞、代名詞
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
平常点（出席率・授業参加度）50%、試験50%			
<b>4 教科書</b>			
プリント配布			
<b>5 参考書</b>			
「キリトリ式でペラっとスタディ！中学英語の総復習ドリル」 「ABOUT ME 英語でスラスラ自分が言える本」			
<b>6 成績評価の方法</b>			
平常点（出席率・授業参加度）50%、試験50%			

選択科目	外国語	英語Ⅰ	
松田 朋子	貿易会社に勤務し、主に対アメリカの輸出入実務を経験する。 照明メーカーの輸出入業務を経験する。実践的な英会話を教授してきた。		
必修	2単位（30時間）	講義	1年次

### 1 授業科目の概要・到達目標

#### 〈概要〉

問題集を解くことによって、TOEIC試験の理解と出題特徴を把握し、本番でどんな問題でも対応できる能力を身につける。この科目では、リーディングに注視し、授業を行なう。

- ・ TOEIC Part5演習

#### 〈到達目標〉

TOEIC試験対策を中心に、聴解・読解能力を養い、高得点を取ることを目的とする。

### 2 授業内容

- |     |                  |
|-----|------------------|
| 1回  | TOEIC Part5 文法練習 |
| 2回  | TOEIC Part5 文法練習 |
| 3回  | TOEIC Part5 文法練習 |
| 4回  | TOEIC Part5 文法練習 |
| 5回  | TOEIC Part5 文法練習 |
| 6回  | TOEIC Part5 文法練習 |
| 7回  | TOEIC Part5 実戦練習 |
| 8回  | TOEIC Part5 実戦練習 |
| 9回  | TOEIC Part5 実戦練習 |
| 10回 | TOEIC Part5 実戦練習 |
| 11回 | TOEIC Part5 実戦練習 |
| 12回 | TOEIC Part5 実戦練習 |
| 13回 | TOEIC Part5 実戦練習 |
| 14回 | TOEIC Part5 実戦練習 |
| 15回 | TOEIC Part5 実戦練習 |

### 3 履修上の注意・予習復習の内容

平常点（出席率・授業参加度）50%、試験50%

### 4 教科書

プリント配布

### 5 参考書

「TOEICテスト文法完全攻略ルールブック」  
TOEIC L&Rテスト レベル別問題集 470点突破

### 6 成績評価の方法

平常点（出席率・授業参加度）50%、試験50%

一般科目	文書表現	小論文	
西島 一人			
野澤 涼子			
必修・選択	4単位 (60時間)	講義	1年次

### 1 授業科目の概要・到達目標

#### 〈概要〉

日本留学試験記述問題、志望理由書、大学独自入試試験の記述問題・小論文、書面での自己PRなどに合わせた文章力の育成を目的とする。

#### 〈到達目標〉

伝わりやすい文章、より適切な文章が書けることを目標とする。特に日本留学試験記述問題、志望理由書、大学独自入試試験の記述問題・小論文、書面での自己PRなどに合わせた文章力の育成を目的とする。

### 2 授業内容

1回	基礎的な日本語記述トレーニング	16回	実践的な日本語トレーニング
2回	基礎的な日本語記述トレーニング	17回	志望理由書
3回	基礎的な日本語記述トレーニング	18回	志望理由書
4回	基礎的な日本語記述トレーニング	19回	志望理由書
5回	入試向けの基礎的記述トレーニング	20回	実践的な日本語記述トレーニング
6回	入試向けの基礎的記述トレーニング	21回	実践的な日本語記述トレーニング
7回	入試向けの基礎的記述トレーニング	22回	実践的な日本語記述トレーニング
8回	入試向けの基礎的記述トレーニング	23回	入試向けの実践的記述トレーニング
9回	入試向けの基礎的記述トレーニング	24回	入試向けの実践的記述トレーニング
10回	入試向けの基礎的記述トレーニング	25回	入試向けの実践的記述トレーニング
11回	入試向けの基礎的記述トレーニング	26回	入試向けの実践的記述トレーニング
12回	入試向けの基礎的記述トレーニング	27回	応用的な日本語記述トレーニング
13回	実践的な日本語トレーニング	28回	応用的な日本語記述トレーニング
14回	実践的な日本語トレーニング	29回	応用的文章表現
15回	実践的な日本語トレーニング	30回	応用的文章表現

### 3 履修上の注意・予習復習の内容

授業中の私語、居眠り、飲食を禁止する。課題未提出、または課題達成率が25%以下の場合、もしくはインターネット情報等からの盗用が認められた場合は平常点から大きく減点する。

### 4 教科書

「留学生のための論文徹底ドリル」、その他

### 5 参考書

適宜提示

### 6 成績評価の方法

平常点（課題提出率・授業態度・出席率）50%、試験50%

専門必修科目	ライフデザインⅠ	キャリア形成	
内田 勉			
西島 一人			
必修	2単位（30時間）	講義	1年次

### 1 授業科目の概要・到達目標

#### 〈概要〉

自分の将来像を考え、進路研究を行う。希望進路に進むために必要な知識や資格を洗い出し、スケジュールを立てる。自己理解ワークシートを使用し、キャリアプランニングを行う。

#### 〈到達目標〉

自分を知り、進路を考える

### 2 授業内容

- 1回 進路研究 ガイダンス
- 2回 進路研究 自己理解
- 3回 進路研究
- 4回 進路研究
- 5回 個人面談
- 6回 進路研究 業界研究
- 7回 進路研究
- 8回 進路研究
- 9回 進路研究
- 10回 進路研究
- 11回 進路研究
- 12回 進路研究
- 13回 進路研究
- 14回 進路研究
- 15回 個人面談

### 3 履修上の注意・予習復習の内容

- ・個人面談は必ず受けること

ワークシートなどの宿題は必ずやってくる

### 4 教科書

### 5 参考書

### 6 成績評価の方法

出席率、授業態度、個人面談

専門必修科目	ライフデザインII	キャリア形成	
内田 勉			
西島 一人			
必修	2単位 (30時間)	講義	1年次

### 1 授業科目の概要・到達目標

#### 〈概要〉

自分の将来像を考え、進路研究を行う。希望進路に進むために必要な知識や資格を洗い出し、スケジュールを立てる。  
企業研究をして、志望理由を固める。

#### 〈到達目標〉

自分の将来像を考え、進路研究を行う。希望進路に進むために必要な知識や資格を洗い出し、スケジュールを立てる。  
企業研究をして、志望理由を固める。

### 2 授業内容

- 1回 進路研究 企業研究
- 2回 進路研究
- 3回 進路研究 進路学習
- 4回 進路研究
- 5回 個人面談
- 6回 進路研究 志望理由・志望理由書
- 7回 進路研究
- 8回 進路研究
- 9回 進路研究
- 10回 個人面談
- 11回 企業研究
- 12回 企業研究
- 13回 企業研究
- 14回 企業研究
- 15回 個人面談

### 3 履修上の注意・予習復習の内容

- ・個人面談は必ず受けのこと
- ワークシートなどの宿題は必ずやってくる

### 4 教科書

### 5 参考書

### 6 成績評価の方法

出席率、授業態度、個人面談

一般科目	ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ	英語Ⅰ	
宮崎 研三			
必修・選択	2 単位 (30時間)	講義	1年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉 TOEIC試験対策を中心に、聴解能力(Listening)を養うことを目的とする。 その為、たくさんの英語を聞いて、耳を英語に慣れさせる。			
〈到達目標〉 TOEIC試験対策を中心に、聴解を養い、高得点を取ることを目的とする。			
<b>2 授業内容</b>			
1回	TOEIC リスニング演習①		
2回	TOEIC リスニング演習②		
3回	TOEIC リスニング演習③		
4回	TOEIC リスニング演習④		
5回	TOEIC リスニング演習⑤		
6回	TOEIC リスニング演習⑥		
7回	TOEIC リスニング演習⑦		
8回	TOEIC リスニング演習⑧		
9回	TOEIC リスニング演習⑨		
10回	TOEIC リスニング演習⑩		
11回	TOEIC リスニング演習⑪		
12回	TOEIC リスニング演習⑫		
13回	TOEIC リスニング演習⑬		
14回	TOEIC リスニング演習⑭		
15回	TOEIC リスニング演習⑮		
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
出席率と授業態度を重視します。 自分で発音することも大切なので積極的に練習に参加する。			
<b>4 教科書</b>			
特に指定せず、プリントを使用する。			
<b>5 参考書</b>			
公式TOEIC Listening & Reading問題集 公式TOEIC テスト公式問題集 新形式問題対応編 TOEICテスト新形式精選模試リーディング 公式TOEIC Listening & Reading リーディング編 公式TOEIC Listening & Reading リスニング編 TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ			
<b>6 成績評価の方法</b>			
出席率（課題・態度等含む）40% 定期試験 60%			

専門選択科目	ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ	英語Ⅰ	
小林健	旅行会社に10年勤務 外国人に他する観光案内などを経験 実践的英語を学び、教授に活かす。 医師の学会に専属し業務に関する対話通訳を行ってきた。		
必修	2単位 (30時間)	講義	1年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉 問題集を解くことによって、TOEIC試験の理解と出題特徴を把握し、本番でどんな問題でも対応できる能力を身につける。この科目では、リーディングに注視し、授業を行なう。			
〈到達目標〉 TOEIC試験対策を中心に、聴解・読解能力を養い、高得点を取ることを目的とする。			
<b>2 授業内容</b>			
1回	リーディング演習 ①短文対策		
2回	リーディング演習 ②短文対策		
3回	リーディング演習 ③短文対策		
4回	リーディング演習 ④短文対策		
5回	リーディング演習 ⑤長文対策		
6回	リーディング演習 ⑥長文対策		
7回	リーディング演習 ⑦長文対策		
8回	リーディング演習 ⑧長文対策		
9回	リーディング演習 ⑨長文対策		
10回	リーディング演習 ⑩総合問題		
11回	リーディング演習 ⑪		
12回	リーディング演習 ⑫		
13回	リーディング演習 ⑬		
14回	リーディング演習 ⑭		
15回	リーディング演習 ⑮		
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
予習は必須。辞書機能を使用するためでも授業中の携帯電話の使用は禁止する。私語厳禁。			
<b>4 教科書</b>			
使用するプリントを配布する。			
<b>5 参考書</b>			
<b>6 成績評価の方法</b>			
出席50%、試験50%			

必修科目	ビジネスマナーⅠ	ビジネスマナー	
吉川 知子	一般企業にてビジネスマナーの社員教育を担当。商業実務課程の専門学校講師20年		
必修・選択	2単位（30時間）	講義	1年次

### 1 授業科目の概要・到達目標

#### 〈概要〉

日本社会での一般的な社会常識を理解し、「良好な人間関係を築くために必要なビジネスマナー」の基本をロールプレイングを交えながら学び、日常生活でも当たり前にできるようになる

#### 〈到達目標〉

「心を伝える立ち振る舞い」を身につける

### 2 授業内容

- 1回 これから求められる人間関係
- 2回 挨拶のポイントと場面にあった挨拶言葉
- 3回 挨拶のポイントと場面にあった挨拶言葉
- 4回 第一印象の重要性、相手に与える自分の印象
- 5回 第一印象の重要性、相手に与える自分の印象
- 6回 視覚に入る情報～身だしなみ
- 7回 視覚に入る情報～面接試験でのスーツの着方
- 8回 視覚に入る情報～基本的動作（姿勢・お辞儀・歩き方・表情）
- 9回 聴覚に入る情報～敬語の基本・感じの良い話し方
- 10回 聴覚に入る情報～発音・活舌トレーニング
- 11回 指示の受け方・報告の仕方
- 12回 指示の受け方・報告の仕方
- 13回 電話応対／受け方・かけ方
- 14回 名刺交換／席次
- 15回 案内・エレベーターの案内とドアの開閉

### 3 履修上の注意・予習復習の内容

学んだ内容をその場で実践しながら理解していくので、授業は休まず出席し、ロールプレイングでは前向きに取り組んでほしい。身だしなみの授業では必ずスーツを着用し参加する事。～評価対象とする

### 4 教科書

「社会で生きる 実践ビジネスマナー」 株式会社ウイネット

### 5 参考書

「G検グローバル人材ビジネス実務検定」 グローバル人材キャリア支援教育  
 「改訂版ビジネスマナー基本テキスト」 株式会社キャリア総研 著  
 「ビジネス能力検定3級テキスト」 日本能率協会マネジメントセンター

### 6 成績評価の方法

授業への参加など 50% / 期末試験 50%

必修科目	ビジネスマナーII	ビジネスマナー	
吉川 知子	一般企業にてビジネスマナーの社員教育を担当。商業実務課程の専門学校講師20年		
必修・選択	2単位 (30時間)	講義	1年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉 日本の面接試験で、目の前の面接官と一瞬で良好な関係を築くための、話し方、質問に対しての考え方、気持ちを伝えるための立ち振る舞いなど、より効果的なコミュニケーション技法を体得する。			
〈到達目標〉 色々な場面での効果的なコミュニケーションを身につける			
<b>2 授業内容</b>			
1回	日本の面接試験で求められること		
2回	日本の面接試験で求められること		
3回	日本の面接試験で求められること		
4回	面接試験での話し方・考え方のポイント		
5回	面接試験での話し方・考え方のポイント		
6回	聞く態度		
7回	個人面接、集団面接での立ち振る舞い		
8回	個人面接、集団面接での立ち振る舞い		
9回	個人面接、集団面接での立ち振る舞い		
10回	模擬面接～集団面接スタイル		
11回	模擬面接～集団面接スタイル		
12回	模擬面接～集団面接スタイル		
13回	模擬面接		
14回	模擬面接		
15回	模擬面接		
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
・学んだ内容をその場で実践しながら理解していくので、授業は休まず出席し、ロールプレイングでは前向きに取り組んでほしい。 決められた期間中に必ずクラス内での模擬面接を受講する事。～評価対象とする			
<b>4 教科書</b>			
「社会で生きる 実践ビジネスマナー」株式会社ウイネット			
<b>5 参考書</b>			
G検グローバル人材ビジネス実務検定」 グローバル人材キャリア支援教育 「改訂版ビジネスマナー基本テキスト」 株式会社キャリア総研 著 「ビジネス能力検定3級テキスト」 日本能率協会マネジメントセンター			
<b>6 成績評価の方法</b>			
授業への参加など 50% ／ 期末試験 50%			

専門必修科目	特別演習ⅠA・B	日本語読解	
川島 麻衣			
必修	4単位（60 時間）	講義	1年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉 長文を読み解く力の育成。大学及び大学院での講義に問題なくついていける読解力を養う。			
<b>2 授業内容</b>			
1回	基礎的な現代文読解	16回	総合読解
2回	基礎的な現代文読解	17回	総合読解
3回	基礎的な現代文読解	18回	総合読解
4回	基礎的な現代文読解	19回	総合読解
5回	基礎読解トレーニング	20回	演習トレーニング
6回	基礎読解トレーニング	21回	演習トレーニング
7回	基礎読解トレーニング	22回	演習トレーニング
8回	基礎読解トレーニング	23回	演習トレーニング
9回	基礎読解トレーニング	24回	演習トレーニング
10回	各試験に向けた演習トレーニング	25回	演習トレーニング
11回	各試験に向けた演習トレーニング	26回	新聞記事および論文などを読み解く力を養う
12回	各試験に向けた演習トレーニング	27回	新聞記事および論文などを読み解く力を養う
13回	各試験に向けた演習トレーニング	28回	新聞記事および論文などを読み解く力を養う
14回	各試験に向けた演習トレーニング	29回	新聞記事および論文などを読み解く力を養う
15回	総合読解	30回	新聞記事および論文などを読み解く力を養う
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>問題演習中の辞書の使用は認めない。（試験の際に辞書は使用できない為、辞書のない状況での読解に慣れるため）</li> <li>欠席した日の内容を自主的に把握すること。欠席した日にプリント等が配布された場合は、後日取りに来ること。</li> <li>欠席したことにより課題提出を知らなかった等は認めない。</li> <li>課題が出された場合は必ず提出すること。課題提出がない場合は単位が認められない場合もある。</li> <li>課題提出期限は厳守。遅延や帰国・公欠は認めない。早めに提出するよう心がけておくこと。</li> <li>公欠の場合も事前に提出しておくこと。</li> </ul>			
予習復習をすること			
<b>4 教科書</b>			
『読むトレーニング基礎』『読むトレーニング応用』『日本留学試験 完全攻略問題集 読解』、『日本語能力試験 N1直前対策ドリル&模試 文字・語彙・文法』日本留学試験過去問、新聞記事等。			
<b>5 参考書</b>			
<b>6 成績評価の方法</b>			
平常点（出席率、授業態度）50%、試験（小テスト、課題提出を含む）50%。			

専門選択科目	地歴Ⅰ・Ⅱ	歴史学概論	
内田 勉			
必修・選択	4単位（60時間）	講義	1年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉			
<地理（系統地理）>			
世界から見た日本の特色、日本全体から見た各地域の特色をまとめる。特に「自然環境」「資源・産業・貿易」「人口」「生活文化」の4つの視点から追求する。日本留学試験の総合科目に対応できる実力を養成する。			
<歴史（日本史中心）>			
近現代史を中心に学習。試験で高得点を取得することを目指す。試験終了後は、日本史上の偉人と呼ばれる人物について考察する。単なる暗記科目としての歴史ではなく、歴史の学習を通して時代を見る目を養う。			
〈到達目標〉			
<地理分野>世界地理・日本地理を理解する。			
<歴史分野>幕末～近現代の歴史項目を理解する。			
<b>2 授業内容</b>			
1回	開国と江戸幕府の滅亡	16回	日本の自然環境と自然災害
2回	明治維新	17回	環境問題Ⅰ・Ⅱ
3回	日清・日露戦争	18回	農牧業の発達と地域分化
4回	日本の産業革命と近代文化	19回	世界の農業・水産業・林業
5回	第一次世界大戦と日本	20回	エネルギー・鉱産資源
6回	世界恐慌と日本の大陸進出	21回	工業の発達と工業立地
7回	第二次世界大戦と日本	22回	世界の工業地域
8回	戦後の日本と冷たい戦争	23回	食糧問題と消費・余暇活動
9回	地図・図法と時差	24回	交通・通信
10回	地形図の読図・地域調査	25回	国家・国家軍
11回	世界の大地形	26回	貿易と国際交流
12回	世界の小地形	27回	人口分布・構成と人口問題
13回	海洋と陸水	28回	村落と都市の立地・形態
14回	世界の気候環境	29回	都市・居住問題
15回	世界の気候区分	30回	人種・民族Ⅰ・Ⅱ
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
・出席率を重視する。			
・講義内で前回の内容についての復習をする。			
<b>4 教科書</b>			
・はじめる地理40テーマー地理メインテキスト			
・日本史Bの必修整理ノート（文英堂）－歴史メインプリント			
<b>5 参考書</b>			
・シグマ基本問題集 地理B（文英堂）			
・シグマ基本問題集 日本史B（分英堂）			
・基本地図帳（二宮書店）			
<b>6 成績評価の方法</b>			
出席率（課題、態度等含む）50%		期末試験 50%	= 合計 100%

専門選択科目	政治経済Ⅰ・Ⅱ	政治学概論	
内田 勉			
宮崎 研三			
選択	4単位 (60時間)	講義	1年次

### 1 授業科目の概要・到達目標

#### 〈概要〉

政治経済は総合科目の中で比較的内容理解が重視される科目であるため、単なる重要語句の暗記のレベルに留まらず、きちんと当該内容を理解した上で正答を選択できる力を伸ばす。

#### 〈到達目標〉

日本と世界の政治学について学び、理解できるようになる。

### 2 授業内容

1回	①民主主義の基本原理	16回	②経済循環と現代の企業
2回	①民主主義の基本原理	17回	②経済循環と現代の企業
3回	②世界の政治制度	18回	③市場と価格
4回	②世界の政治制度	19回	③市場と価格
5回	③日本国憲法	20回	④国民所得と景気変動
6回	③日本国憲法	21回	④国民所得と景気変動
7回	④日本の統治機構	22回	⑤金融政策
8回	④日本の統治機構	23回	⑤金融政策
9回	⑤政党と政党政治	24回	⑥財政政策
10回	⑤政党と政党政治	25回	⑥財政政策
11回	⑥現代政治の諸問題	26回	⑦日本経済の歩み
12回	⑥現代政治の諸問題	27回	⑦日本経済の歩み
13回	⑥現代政治の諸問題	28回	⑧日本経済の諸問題
14回	①経済体制	29回	⑨国際経済(1) <sup>w</sup> 貿易と為替
15回	①経済体制	30回	⑩国際経済(2) <sup>w</sup> 国際経済の仕組み

### 3 履修上の注意・予習復習の内容

- ・出席率を重視する。
- ・講義内で前回の内容についての復習をする。

### 4 教科書

シグマベスト シグマ基本問題集 政治・経済

### 5 参考書

時事問題に関する資料を適宜使用する

### 6 成績評価の方法

平常点（出席率・課題提出率・授業態度）50% + 定期試験50%

専門選択科目	リーダーシップ論	リーダーシップ論
山本 京子		
選択	2単位 (30時間)	講義 1年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>		
〈概要〉 グループごとにテーマを決めて、プレゼンテーションを行う。参加者全員で投票を行い、クラスから1チーム代表を決めて、学内でのプレゼンテーションの大会を行う。		
〈到達目標〉 自分たちでテーマを決めて、魅力的なプレゼンテーションができるようになる。		
<b>2 授業内容</b>		
1回	イントロダクション	
2回	グループ決め、テーマ決め	
3回	プレゼン準備	
4回	プレゼン準備	
5回	プレゼン準備	
6回	プレゼン準備	
7回	プレゼン準備	
8回	プレゼン準備	
9回	プレゼン準備	
10回	プレゼン準備	
11回	プレゼン発表と講評	
12回	プレゼン発表と講評	
13回	プレゼン発表と講評	
14回	プレゼン発表と講評	
15回	プレゼン大会	
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>		
積極的な参加を求む。		
<b>4 教科書</b>		
なし		
<b>5 参考書</b>		
<b>6 成績評価の方法</b>		
出席率+プレゼンテーションの評価+グループでの貢献度		

専門選択科目	プロジェクト研究 IA・IB	国際関係研究	
内田 勉			
必修・選択	4 単位 (60時間)	講義	1 年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉 地理・日本史・世界史を対象に、世界各国の地理・産業分布などを分析し現状を把握する <sup>w</sup> 系統地理 <sup>h</sup> 、近現代（市民革命以降）に焦点をあてる。とくに世界史では20世紀以降の流れを的確につかみ取り、国際的な教養力を身につける。			
〈到達目標〉 近現代における国際的な教養を身につける			
<b>2 授業内容</b>			
1回	国家・国家群	16回	ヨーロッパ主権国家の成立と展開
2回	国家・国家群	17回	ヨーロッパ主権国家の成立と展開
3回	国家・国家群	18回	欧米近代社会の成長
4回	貿易と国際交流	19回	欧米近代社会の成長
5回	貿易と国際交流	20回	近代国民国家の発展
6回	貿易と国際交流	21回	近代国民国家の発展
7回	人口分布・人口問題	22回	アジア諸地域の動搖
8回	人口分布・人口問題	23回	アジア諸地域の動搖
9回	人口分布・人口問題	24回	帝国主義とアジアの民族運動
10回	環境問題	25回	帝国主義とアジアの民族運動
11回	環境問題	26回	2つの世界大戦
12回	環境問題	27回	2つの世界大戦
13回	人種・民族等	28回	今日の世界
14回	人種・民族等	29回	今日の世界
15回	人種・民族等	30回	世界を動かした人たち
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
毎回レポート課題を出すので、必ず提出すること			
<b>4 教科書</b>			
『はじめる地理40テーマ <sup>w</sup> 地理メインテキスト』 ・『作業する資料集 アクティブラーニング総合地理Ⅰ・Ⅱ』（浜島書店）			
<b>5 参考書</b>			
<b>6 成績評価の方法</b>			
出席率+レポート提出			

専門選択科目	ビジネス文書Ⅰ・Ⅱ	ビジネス文書	
川島 麻衣			
山本 京子			
必修・選択	4単位 (60時間)	講義	1年次

### 1 授業科目の概要・到達目標

#### 〈概要〉

社会人として必要な聴解力及び読解力を養うために、アカデミックな内容の長文を聞く練習を行う。ビジネス日本語能力テストに即した内容とするので、ぜひ受験してもらいたい。

#### 〈到達目標〉

ビジネス日本語能力テストJ2レベルを目指す。

### 2 授業内容

1回	聴解	16回	語彙文法
2回	場面把握	17回	語彙文法
3回	場面把握	18回	表現読解
4回	発言聴解	19回	表現読解
5回	発言聴解	20回	総合問題
6回	総合問題	21回	総合問題
7回	総合問題	22回	練習問題・答練
8回	聽読解	23回	練習問題・答練
9回	状況把握	24回	練習問題・答練
10回	状況把握	25回	練習問題・答練
11回	資料聽読解	26回	練習問題・答練
12回	資料聽読解	27回	練習問題・答練
13回	資料聽読解	28回	練習問題・答練
14回	資料聽読解	29回	練習問題・答練
15回	読解	30回	練習問題・答練

### 3 履修上の注意・予習復習の内容

課題は必ず出すこと

### 4 教科書

- 『大学大学院 留学の日本語 読解編』（アルク）
- 『B J T ビジネス日本語能力テスト 公式ガイド』（J E T R O）
- 『B J T ビジネス日本語能力テスト J L R T 体験テストと解説』（J E T R O）
- 『ジェトロビジネス日本語能力テスト 模試と対策』（A S K）

### 5 参考書

### 6 成績評価の方法

授業態度 + 出席数 + 課題提出

専門選択科目	国際関係論 I・II	国際関係論	
内田 勉			
必修・選択	4 単位 (60時間)	講義	1年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉 本講義は、グローバル化、国際化が急速に進む現代世界の基礎知識を修得していくことをめざす。受講者が時事問題への理解を深めると同時に、複雑な現代世界を読み解く力を養うことで、将来の勉学に対する学術的な基盤を強固にすることにも配慮したい。			
〈到達目標〉 国際関係の基礎を学び、時事問題について理解できるようになる。			
<b>2 授業内容</b>			
1回	1 現代社会の課題	16回	3 国際政治史
2回	環境問題	17回	2つの大戦
3回	資源・エネルギー問題	18回	冷戦時代と崩壊
4回	資源・エネルギー問題	19回	日本外交史
5回	少子高齢化	20回	日本外交史
6回	人口・食糧問題	21回	4 国際経済史
7回	生命倫理	22回	国際通貨体制
8回	生命倫理	23回	南北問題
9回	2 国際社会の動向と日本	24回	民族紛争
10回	国際社会の形成	25回	民族紛争
11回	国際政治の動き	26回	5 時事問題
12回	国際政治の動き	27回	時事問題理解
13回	世界経済の動向	28回	時事問題理解
14回	人類の課題と日本の国際化	29回	時事問題理解
15回	人類の課題と日本の国際化	30回	時事問題理解
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
出席率を重視し、適宜、課題を課す（授業内の小テストあり）。 時事問題への理解を深めるために、積極的に発言することを求める。			
<b>4 教科書</b>			
シグマベスト シグマ基本問題集 現代社会			
<b>5 参考書</b>			
時事問題に関する資料を適宜使用する			
<b>6 成績評価の方法</b>			
平常点（出席率・課題提出率・授業態度）50% + 定期試験50%			

専門選択科目	検定対策 IA・B	聴解能力養成	
山本 京子	語学研修所、短期大学に勤務		
選択	4単位 (60時間)	講義	1年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉			
①語彙を増やす（擬音語・擬態語・擬声語含む）。			
②スキミング・スキャニング・サーチリスニングなど様々な聞き方を習得する。			
③音読による発音矯正を行なう。			
④適切に要約できる力をつける。			
〈到達目標〉			
大学の講義や会社でのプレゼンが聽けるレベルの聴解能力をつけてる。			
<b>2 授業内容</b>			
1回	基本的な聴解練習	16回	統合的な練習
2回	導入及び周辺知識（スキーマの活性化）	17回	プロジェクトトーク
3回	導入及び周辺知識（スキーマの活性化）	18回	プロジェクトトーク
4回	テキストを使用した聴解	19回	プロジェクトトーク
5回	テキストを使用した聴解	20回	プロジェクトトーク
6回	重要語句・重要表現等確認	21回	プロジェクトトーク
7回	重要語句・重要表現等確認	22回	プロジェクトトーク
8回	ニュースやテレビ番組を使用した聴解	23回	プレゼンテーション
9回	ニュースやテレビ番組を使用した聴解	24回	グループ決め、テーマ決め
10回	ニュースやテレビ番組を使用した聴解	25回	内容話し合い、ポスター作成
11回	ニュースやテレビ番組を使用した聴解	26回	プレゼン内容調整
12回	ニュースやテレビ番組を使用した聴解	27回	プレゼン練習
13回	解答・解法解説（聴読解図表・グラフ等）	28回	プレゼン練習
14回	解答・解法解説（聴読解図表・グラフ等）	29回	プレゼン練習
15回	解答・解法解説（聴読解図表・グラフ等）	30回	発表
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
グループワークなどのワークには積極的な参加を望む			
<b>4 教科書</b>			
『完全攻略（改訂版）聴解・聴読解』『ニュースの日本語聴解50』			
『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 聽解（中級～上級）』			
『聴解・発表ワークブック』『日本語能力試験N1聴解必修パターン』、生のニュースなど			
<b>5 参考書</b>			
『発音』国際交流基金 など			
<b>6 成績評価の方法</b>			
講義への参加度（出席率、態度、提出物）		50%	
試験		50%	

専門選択科目	マーケティングⅠ・Ⅱ	マーケティング	
西島 一人			
青柳 巧介			
選択	4単位 (60時間)	講義	1年次

### 1 授業科目の概要・到達目標

#### 〈概要〉

本講義は、卒業後の学びに備えた教養、具体的にはマーケティングに関する知識を取得することを目的とする。マーケティングには様々な知識を必要とするため、受講者の適性に応じた授業を実施する必要がある。そのため、担当者の専門知に基づいた授業を実施する。

#### 〈到達目標〉

マーケティングの重要性について理解し、手法を知る。

### 2 授業内容

1回	マーケティングとは	16回	消費者行動
2回	価格マネジメント	17回	消費者情報処理
3回	価格マネジメント	18回	購買行動
4回	製品のマネジメント	19回	顧客満足度
5回	製品のマネジメント	20回	マーケティングリサーチ
6回	流通戦略	21回	マーケティングリサーチ
7回	流通戦略	22回	マーケティングリサーチ
8回	価格戦略	23回	マーケティングリサーチ
9回	価格戦略	24回	マーケティングリサーチ
10回	プロモーション戦略	25回	マーケティングリサーチ
11回	プロモーション戦略	26回	マーケティングリサーチ
12回	サービスマーケティング	27回	マーケティングリサーチ
13回	ソーシャルマーケティング	28回	マーケティングリサーチ
14回	リレーションシップマーケティング	29回	マーケティングリサーチ
15回	まとめ	30回	マーケティングリサーチ

### 3 履修上の注意・予習復習の内容

受講の際は、用語を覚えるだけでなく「グラフの読み取り方」、「他分野との関係性」について意識をして講義を注意深く聞くこと。

### 4 教科書

プリント配布

### 5 参考書

### 6 成績評価の方法

出席率等	50%
レポート	50%
合計	100%

分野	経済数学Ⅰ・Ⅱ	数学Ⅰ	
青柳 巧介			
必修・選択	4単位 (60時間)	講義	1年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉 基本問題から応用問題までを扱い高得点を目指す。実生活に即した数学の活用を目指す。			
〈到達目標〉 高校で習う範囲の数学を使いこなせる様になる。			
<b>2 授業内容</b>			
1回	数と式	16回	図形の性質
2回	数と式	17回	図形の性質
3回	数と式	18回	図形の性質
4回	2次関数	19回	演習
5回	2次関数	20回	演習
6回	2次関数	21回	演習
7回	図形と計量	22回	演習
8回	図形と計量	23回	演習
9回	図形と計量	24回	演習
10回	場合の数と確率	25回	演習
11回	場合の数と確率	26回	演習
12回	場合の数と確率	27回	演習
13回	整数の性質	28回	演習
14回	整数の性質	29回	演習
15回	整数の性質	30回	演習
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
・授業でやった問題は必ず出来るようにしておくよう。 ・必ず復習をすること。課題は必ず提出すること。			
<b>4 教科書</b>			
新編 数学Ⅰ, 新編 数学A			
<b>5 参考書</b>			
<b>6 成績評価の方法</b>			
平常点（出席率、授業態度、課題提出など）50%、定期試験50%（前期集中・後期集中は授業中の小テストまたは課題で定期試験の替わりとする）。			

専門選択科目	物理基礎	導入物理学	
青柳 巧介			
選択	4単位 (60時間)	講義	1年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉			
物理学の基礎を知ることにより、自然現象の理解を深め、将来、モノづくりにたづさわる機会が会った時にも自然科学の基礎を持って対応できるように高校で習う物理を中心に復習していく。			
〈到達目標〉			
基本事項の確認と物理的な考え方を身につけることを目的とする。特に力学と電気を主軸に柔軟に対応できる実力を養成する。			
<b>2 授業内容</b>			
1回	<力学>	16回	・電磁誘導と電磁波
2回	・剛体の力学	17回	・電磁誘導と電磁波
3回	・剛体の力学	18回	<波動>
4回	・運動	19回	・波の伝わり方
5回	・運動	20回	・波の伝わり方
6回	・運動	21回	・波の伝わり方
7回	・エネルギー	22回	・波の伝わり方
8回	・エネルギー	23回	<熱>
9回	<電気>	24回	・個体液体と熱
10回	・電場	25回	・個体液体と熱
11回	・電場	26回	・気体の熱力学
12回	・電流と磁場	27回	・気体の熱力学
13回	・電流と磁場	28回	最新の技術・理論
14回	・電流と磁場	29回	最新の技術・理論
15回	・電磁誘導と電磁波	30回	最新の技術・理論
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
・一度に全てができるようにはならないので、一つずつ確実にできるようにしていくこと。 復習は必ずすること。			
<b>4 教科書</b>			
改訂版 総合物理1 力と運動・熱(数研出版) ; 改訂版 総合物理2 波・電気と磁気・原子(数研出版) リードα 物理基礎・物理(数研出版)			
<b>5 参考書</b>			
<b>6 成績評価の方法</b>			
出席50点+試験50点の合計100点満点で、A(85~), B(70~84), C(60~69), F(60未満)とする。			

専門選択科目	生物基礎	生命学 I	
松本一直			
選択	4単位 (60時間)	講義	1年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉 細胞、恒常性、代謝、遺伝子、発生、植物、生態系などの各分野について生命現象全般と関連づけて説明し、思考力を養う。教科書とプリントを活用し生命現象の基本事項から発展内容まで詳細に解説する。生命現象、生命科学を体系的に理解するよう促し、随時課題プリントを配布する。9月からは過去問などを解き、11月の第二回日本留学試験以降は、志望校にあわせたり難関大試験対策をしたり演習を中心実施する。			
〈到達目標〉 様々な分野で使用されている生物の知識を学び、食品、服飾、医療などへの技術応用について学ぶ。			
<b>2 授業内容</b>			
1回	イントロダクション	16回	代謝
2回	生物の特徴	17回	代謝
3回	生物の特徴	18回	代謝
4回	生物と遺伝子	19回	生殖
5回	生物と遺伝子	20回	生殖
6回	生物と遺伝子	21回	生殖
7回	生物の体内環境	22回	発生
8回	生物の体内環境	23回	発生
9回	生物の体内環境	24回	発生
10回	生物の体内環境	25回	生物の環境応答
11回	生物の体内環境	26回	生物の環境応答
12回	生体と環境	27回	生物の環境応答
13回	生体と環境	28回	最新のトピックス
14回	生体と環境	29回	最新のトピックス
15回	生体と環境	30回	最新のトピックス
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
・主な生命現象と生物の重要用語を板書やプリントで解説し、生命系全般への理解を深める。受験生物と生命科学に必須の項目を説明し授業ごとにプリントなどで学習の進捗を確認する。 ・授業前に予習用として来週分のプリントなどを配布する。			
<b>4 教科書</b>			
第一学習社教科書。独自プリント			
<b>5 参考書</b>			
教科書は基本的内容から受験に必須な内容まで包括している。授業内容と並行して予習復習として活用する。プリントでの演習問題を通して重要な用語の確認と思考力を養う。			
<b>6 成績評価の方法</b>			
出席50%、試験50%、ただし出席3分の1未満の場合には、本試験参加できず、追試験対象者となる。			

専門選択科目	化学基礎	専分析学 IA・B	
浦野 直人			
選択	4単位 (60時間)	講義	1年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉			
留学生が、日本における基礎化学教育の全般を習得することを目的とする。			
〈到達目標〉			
特に日本留学生試験EJUに合格するための基礎化学力を身に付けることを最終目標とする。			
<b>2 授業内容</b>			
1回	物質の構成	16回	化学反応
2回	物質の構成	17回	化学反応
3回	物質の構成	18回	化学反応
4回	物質の構成	19回	無機物質
5回	物質の構成	20回	無機物質
6回	物質の変化	21回	無機物質
7回	物質の変化	22回	無機物質
8回	物質の変化	23回	有機化合物
9回	物質の変化	24回	有機化合物
10回	物質の変化	25回	有機化合物
11回	物質の状態	26回	有機化合物
12回	物質の状態	27回	高分子化合物
13回	物質の状態	28回	高分子化合物
14回	物質の状態	29回	高分子化合物
15回	化学反応	30回	高分子化合物
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
できる限り授業に出席して、教員の説明に耳を傾けて下さい。			
<b>4 教科書</b>			
高等学校教科書：化学基礎・化学（実教出版）を本講義の教科書とする。			
基礎からのシグマベスト「これでわかる基礎反復問題集：化学基礎・化学」（文英堂）を本講義の問題集とする。			
<b>5 参考書</b>			
チャート式新化学「化学基礎・化学」（数研出版）を勉強資料とする。			
<b>6 成績評価の方法</b>			
出席点 + 試験成績で総合評価する。			

分野	日本語文法	文法Ⅰ	
西島 一人			
松田 朋子			
選択	4単位（60時間）	講義	1年次

### 1 授業科目の概要・到達目標

#### 〈概要〉

- ・日本語能力試験N2の復習からN1レベルの文法力を養う
- ・文型だけでなく、教科書の例文を通じて語彙や表現も広げていく
- ・学習した文型や語彙を使用してアウトプットできるようになる

#### 〈到達目標〉

日本語能力試験N2、N1合格を目指す。

### 2 授業内容

1回	文型学習	16回	運用練習
2回	文型学習	17回	運用練習
3回	文型学習	18回	運用練習
4回	文型学習	19回	運用練習
5回	文型学習	20回	「文の組み立て」練習
6回	問題演習	21回	「文の組み立て」練習
7回	問題演習	22回	「文の組み立て」練習
8回	問題演習	23回	「文の組み立て」練習
9回	問題演習	24回	「文の組み立て」練習
10回	問題演習	25回	総合演習
11回	例文作成練習	26回	総合演習
12回	例文作成練習	27回	総合演習
13回	例文作成練習	28回	総合演習
14回	例文作成練習	29回	総合演習
15回	例文作成練習	30回	総合演習

### 3 履修上の注意・予習復習の内容

授業中の私語、内職、居眠りは厳禁とし、それらの行為が認められた場合は平常点から減点します

### 4 教科書

「日本語能力試験 完全攻略問題集 上級N1の文法」

### 5 参考書

適宜提示

### 6 成績評価の方法

平常点（出席率・授業参加度）50%、試験（授業中に行うクイズも含む）50%